

令和2年度学修調査の概要報告

【目的】

・本調査の目的は、学生に対する支援と指導のため、日常の学生の学修状況についての基礎的な資料を得ることである。

【方法】

1. 調査対象

・体育学部に所属する全学生を対象として調査を実施した。

2. 調査内容

・「学生の学修状況に関する調査」というアンケートを Google フォームにて作成し、調査に使用した。

・質問内容は以下の通りである。:

- ①基礎的情報： 性別、学年、学科
- ②授業時間以外での自主的な学習時間(1日あたりの平均)
- ③授業時間以外での運動やスポーツ活動の時間(1日あたりの平均)
- ④大学での学習で最も力を入れていること
- ⑤高校3年時での授業時間以外での自主的な学習時間(1日あたりの平均)
- ⑥高校3年時での授業時間以外での運動やスポーツ活動の時間(1日あたりの平均)
- ⑦卒業後の進路として最も希望していること

3. 調査の手続き

・調査期間は令和2年7月7日(月)~7月31日(金)である。

・教育企画室アドレスから全学生にメールにてアンケートフォームの URL を配布、期日までの回答を依頼した。

【結果】

1. 回答率について

・学科学年別の回答者数と回答率を表 1 と表 2 に示した。全体での回答率は 61.6%となった。

表 1 学科学年別回答者数

学科	1 年	2 年	3 年	4 年	全体
体育	220 人	207 人	209 人	172 人	808 人
健福	80 人	61 人	69 人	48 人	258 人
運栄	65 人	45 人	58 人	54 人	222 人
ス情	31 人	19 人	28 人	30 人	108 人
現武	31 人	34 人	21 人	19 人	105 人
子教	19 人	31 人	31 人	9 人	90 人
全体	446 人	397 人	416 人	332 人	1591 人

表 2 学科学年別回答率（休学者を含む）

学科	1 年	2 年	3 年	4 年	全体
体育	64.0%	60.0%	63.0%	54.8%	60.5%
健福	72.7%	59.2%	67.0%	46.2%	61.4%
運栄	80.2%	55.6%	66.7%	62.8%	66.3%
ス情	62.0%	46.3%	71.8%	69.8%	62.4%
現武	60.8%	68.0%	58.3%	40.4%	57.1%
子教	54.3%	75.6%	70.5%	60.0%	66.7%
全体	66.5%	60.1%	64.9%	54.5%	61.6%

2. 大学での学習時間と運動時間について

・学年別の自主的な学習時間（授業の予習と復習、資格取得や就職のための勉強など）についての結果を図1に示した。昨年度（2019年度：図1A）と比較して、学習時間が増加傾向であった。特に、3年生以下で増加がみられた。

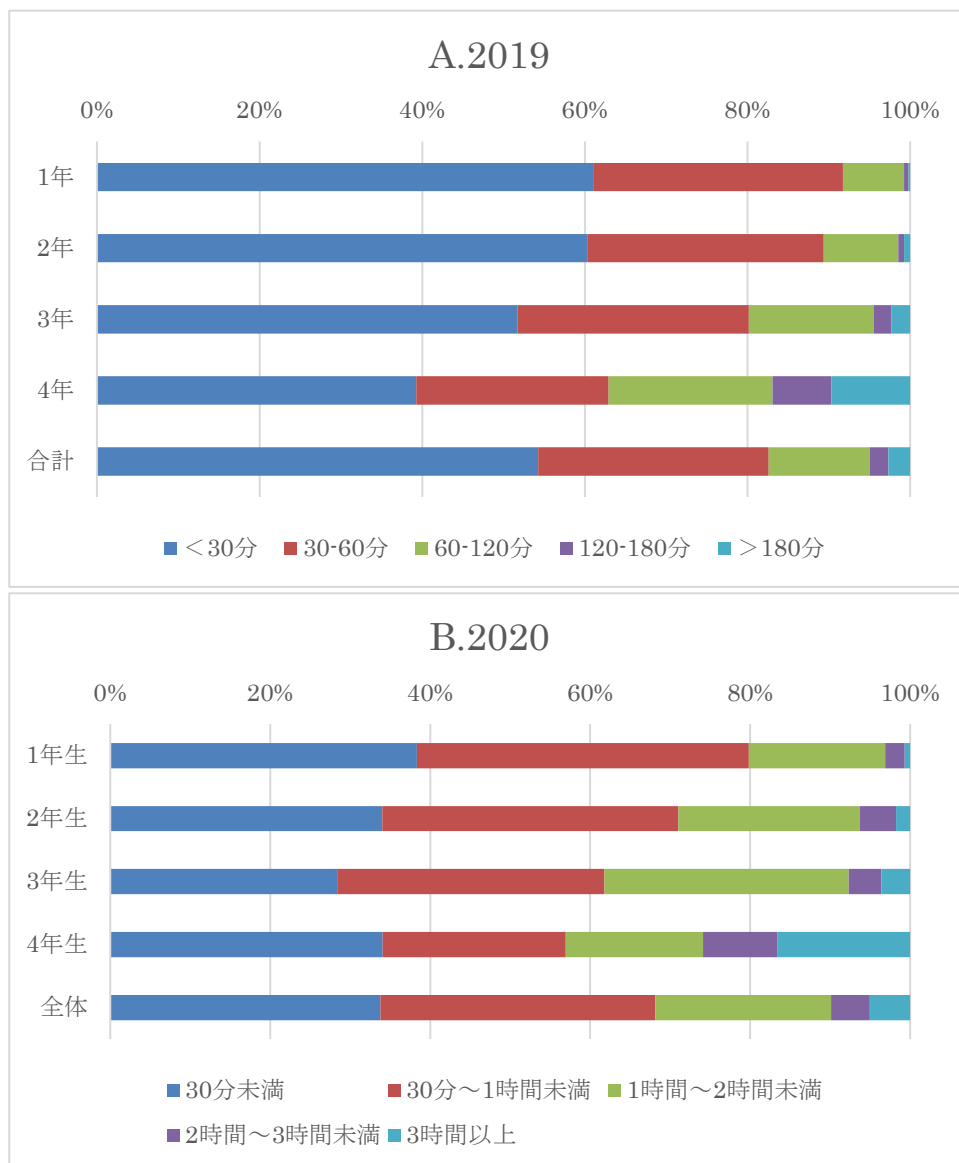


図 1A.1B. 一日の自主学習時間(学年別)

・性別の自主的な学習時間についての結果を図2に示した。昨年度と比べて男女ともに自主的学習時間は増加したものの、性別による大きな違いは見られなかった。

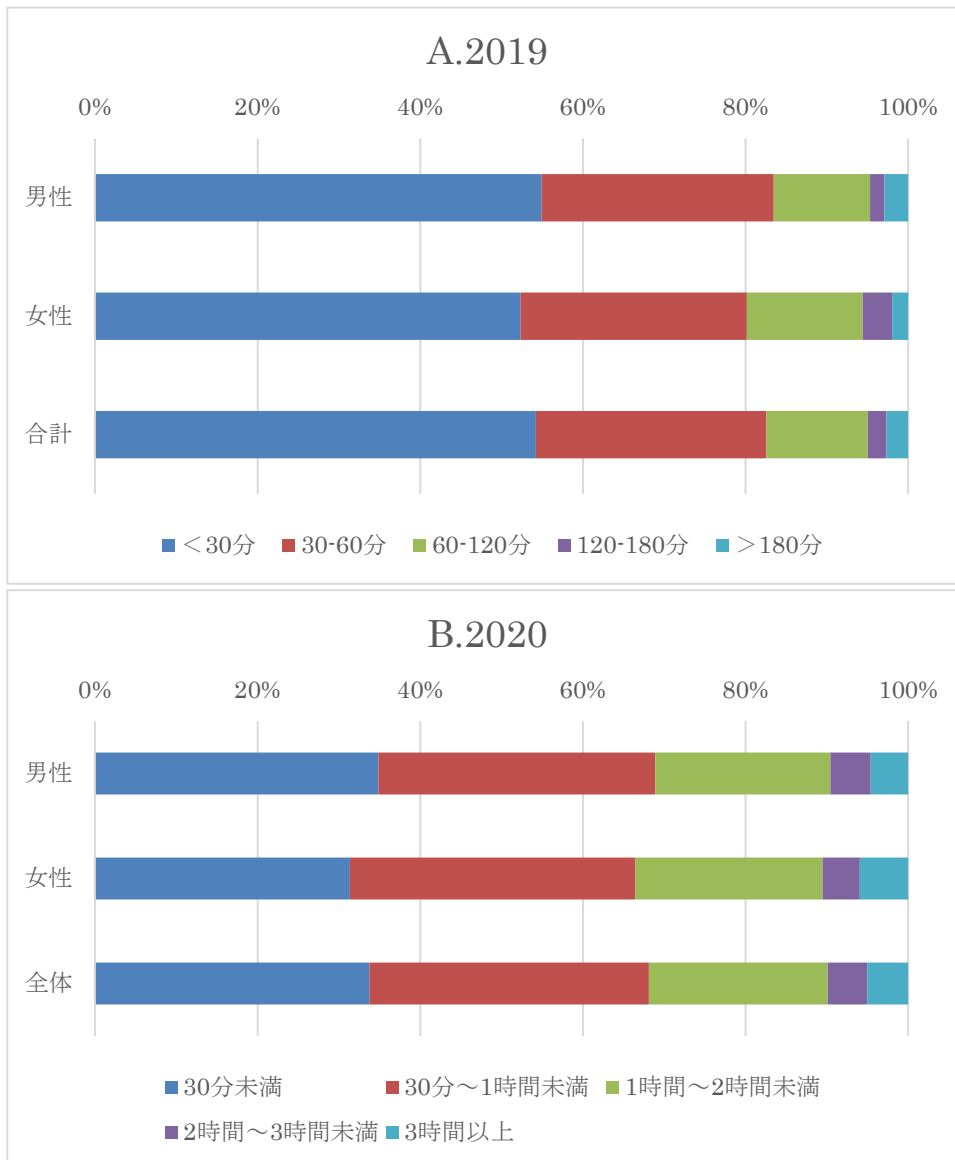


図 2A.2B. 一日の自主学習時間(性別)

・学科別の自主的な学習時間についての結果を図3に示した。各学科において、自主的な学習時間が増加した。



図 3A.3B.一日の自主学習時間（学科別）

・学年別の運動時間についての結果を図4に示した。全体的に1時間未満の学生の割合が昨年度の約30%から約40%へと増加傾向がみられた。特に、1年生の運動時間の減少がみられた。2年生以上は学年が上がるにつれて運動時間が短い(1時間未満)と回答した者の割合が増え、一方で運動時間が長い(2時間以上)と回答した者の割合が減る傾向が見られ、昨年度と同様の傾向の結果であった。



図 4A.4B. 一日の運動やスポーツ活動時間(学年別)

・性別の運動時間についての結果を図5に示した。男女ともに2時間以上運動している学生の割合は3割ほどであったが、女性において男性と比べて1時間～2時間運動する学生の割合が低く、運動時間が30分未満の学生の割合が高い傾向であった。この傾向は昨年度とほぼ同様であった。

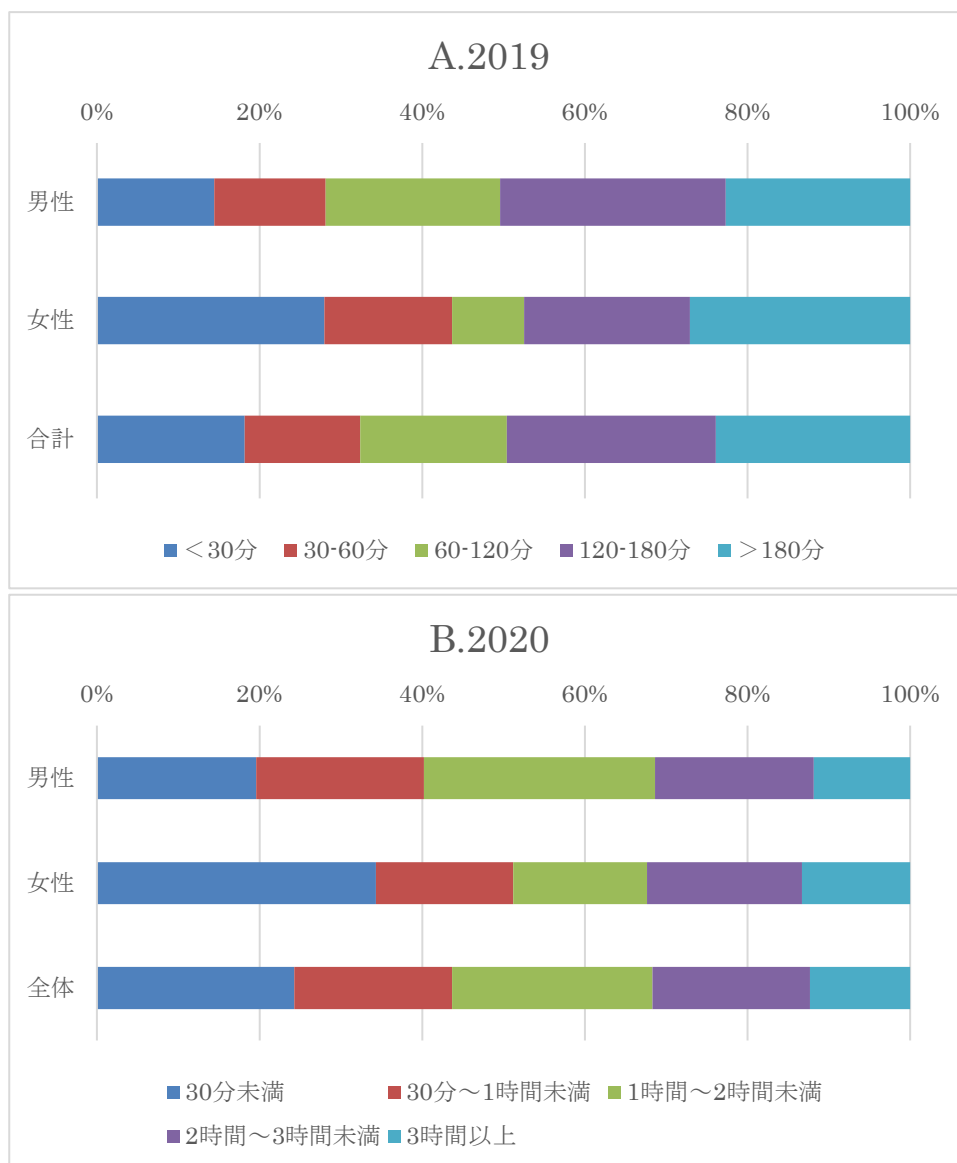


図 5A.5B. 一日の運動やスポーツ活動時間（性別）

・学科別の運動時間についての結果を図6に示した。学科別に比較すると昨年度と同様に学科の特色が出る傾向であった。しかし、3時間以上運動する割合がすべての学科において減少傾向であった。

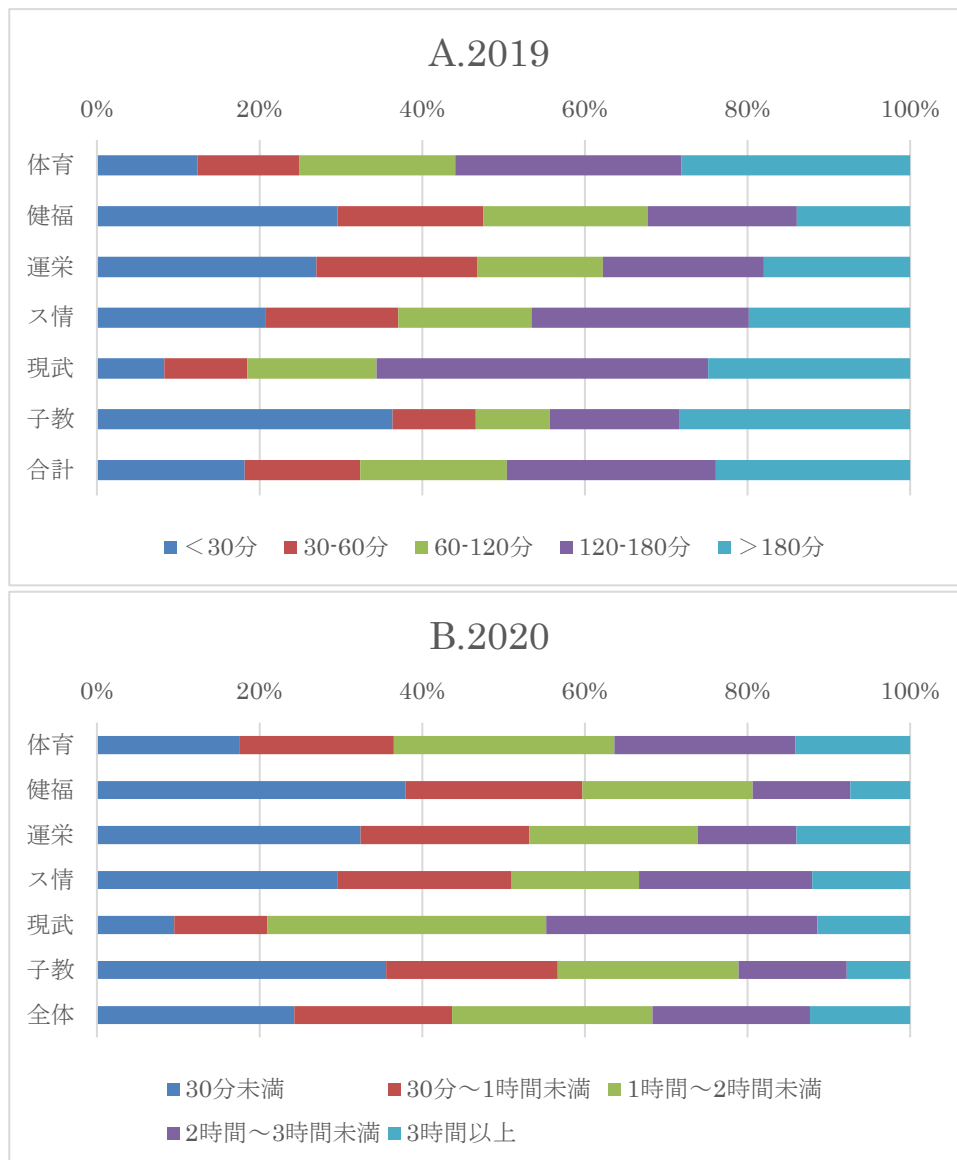


図 6 一日の運動やスポーツ活動時間（学科別）

・大学での学習の目標についての学年別における結果を図7に示した。一年生から三年生までは「専攻する領域に関連する資格・免許を取得する」という回答が最も多いが、学年が進むにつれてその割合は減少する。それに対して「幅広い教養を身につける」という回答の割合は上位学年になるほど大きくなる傾向が見られる。一方、「資格や免許の取得にこだわらず、専攻する領域の専門的な知識や技術を身につける」という回答の割合は学年による違いが小さい。昨年度と同様の傾向の結果であった。その他として「部活動」と回答する学生がみられたが、本年度は割合が減少傾向であった。

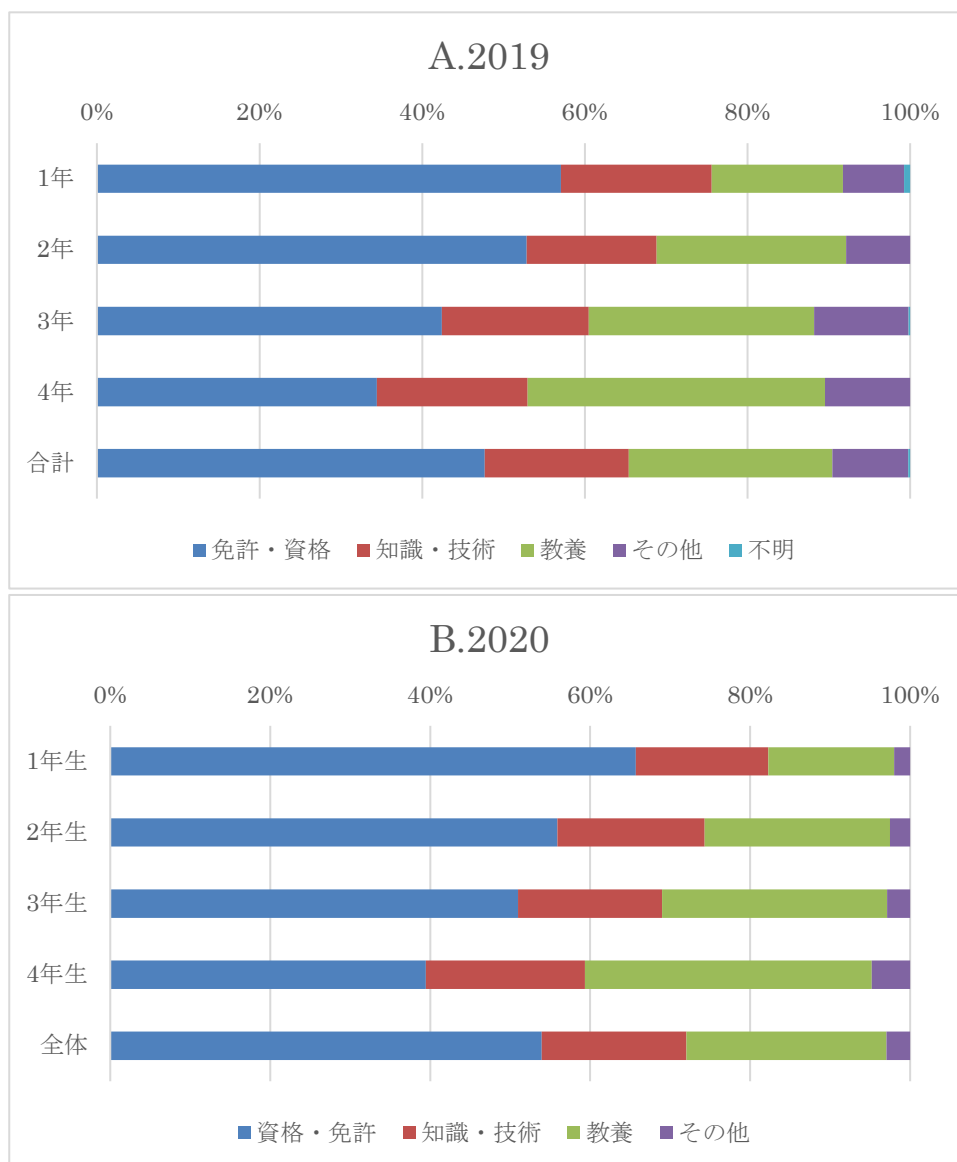


図 7A.7B.大学での学習目標（学年別）

・大学での学習の目標についての性別における結果を図8に示した。男女とも「専攻する領域に関連する資格・免許を取得する」という回答が最も多く、昨年度よりも上回った。特に、女性においては約60%が回答をしていた。それに対して「幅広い教養を身につける」という回答の割合は男子学生の方が大きくなる傾向が見られた。一方、「資格や免許の取得にこだわらず、専攻する領域の専門的な知識や技術を身につける」という回答の割合は男女による違いが小さかった。

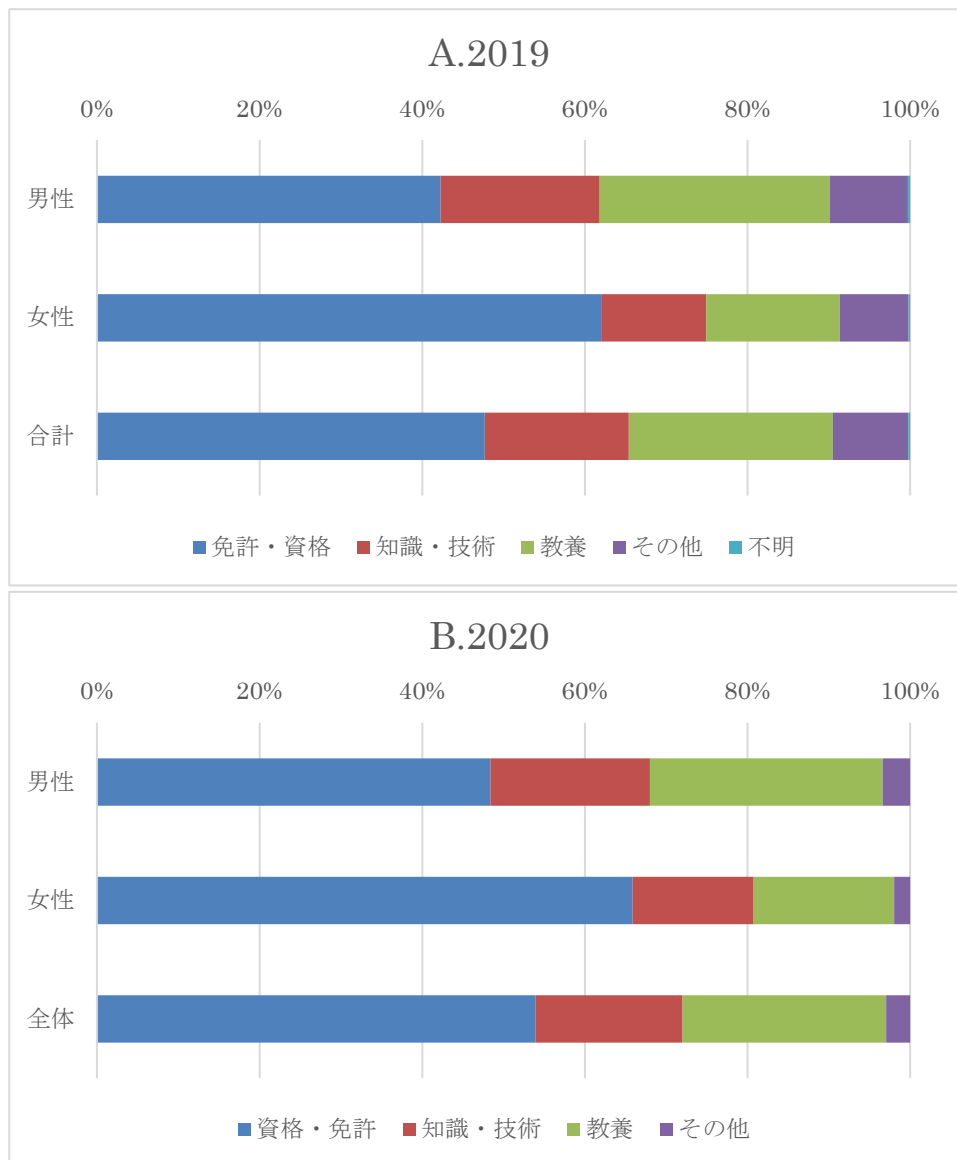


図 8A.8B.大学での学習目標（性別）

・大学での学習の目標についての学科別における結果を図9に示した。学科によって異なり、体育、健福、運栄、子教の四学科では、「専攻する領域に関連する資格・免許を取得する」という回答が40%~60%で最も多かった。それに対して武道と情報の二学科「専攻する領域に関連する資格・免許を取得する」と回答した者の割合が高い傾向が見られた。昨年度と同様の傾向の結果であった。

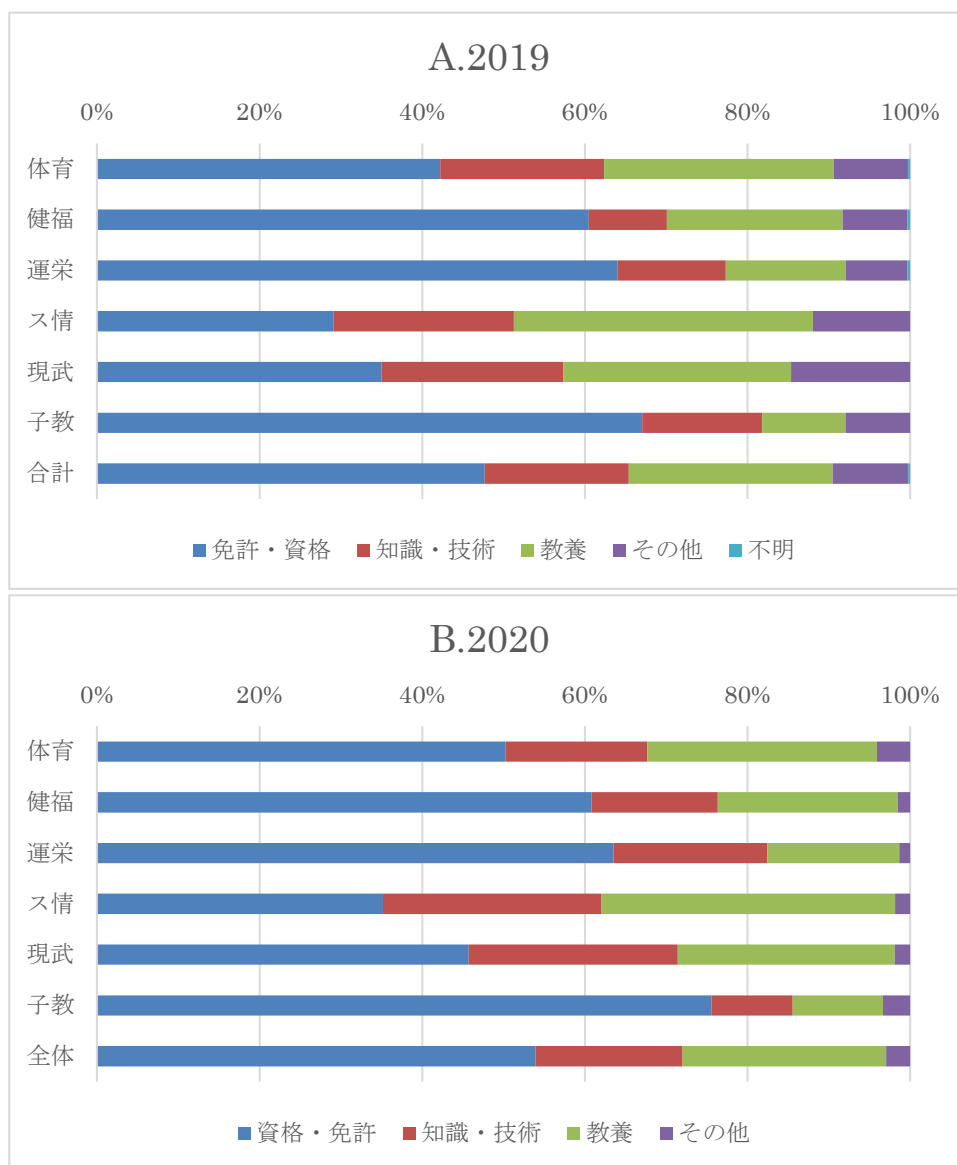


図 9A.9B.大学での学習目標（学科別）

3. 高校三年時の学習時間と運動時間について

・学年別の高校三年生の時の学習時間についての結果を図10に示した。学年による結果の違いは小さかった。一日1時間以上という回答が約40%、そのうち2時間以上が全体の約20%という結果であった。大学での学習時間と比較すると、四年生を除いて、高校三年生の時よりも大学時で学習時間が短い傾向であった。昨年度と同様の傾向の結果であった。

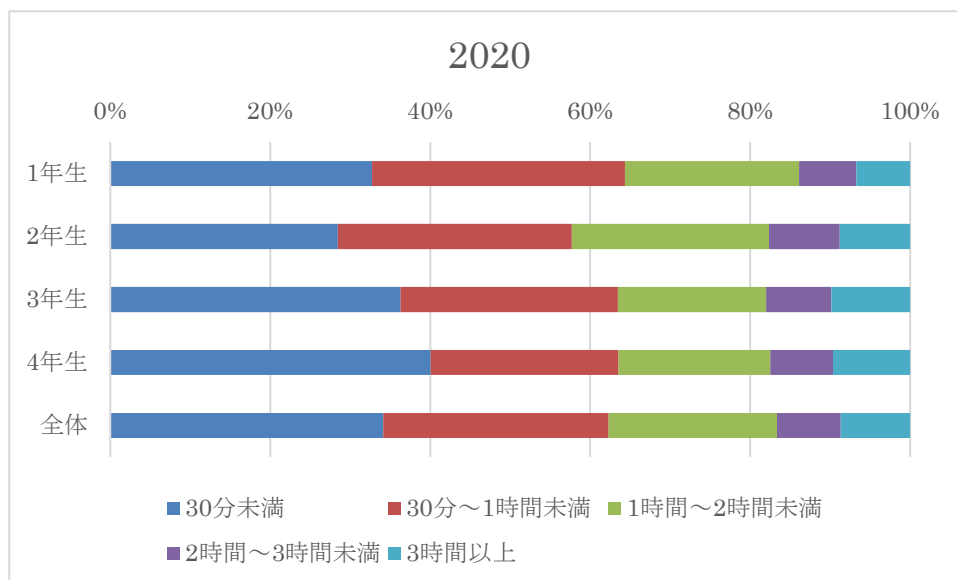


図 10. 高校3年生時の一日の学習時間 (学年別)

・学年別の高校三年生の時の運動時間についての結果を図11に示した。学年による結果の違いは小さかった。平均運動時間が2時間以上という回答が約80%、3時間以上という回答が50%程度という結果になった。大学での運動時間と比べると、高校3年生の時よりも現在の方が、運動時間が短いと回答する者が多い傾向が見られた。

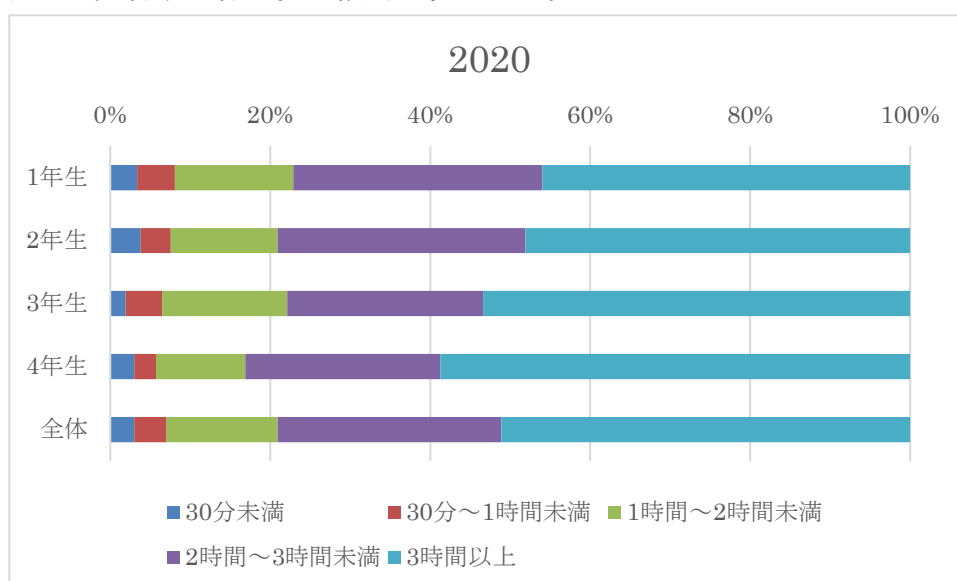


図 3. 高校3年生時のスポーツ活動時間 (学年別)

4. 卒業後の進路の希望について

・学年別の卒業後の進路の希望についての結果を図12に示した。1年生では「教員あるいは保育士」という回答が50%弱と最も多かった。「教員あるいは保育士」や「スポーツに関わる職業」と回答する者の割合は学年が進むにつれて減少する傾向が見られた。また、いずれの学年においても、「公務員」という回答は比較的多く見られた。これに対して、「一般企業(大学での専攻領域に特にこだわらない)」という回答の割合は学年による違いが見られ、上級学年になるほど一般企業を希望する回答者が多かった。昨年度と同様の結果であった。

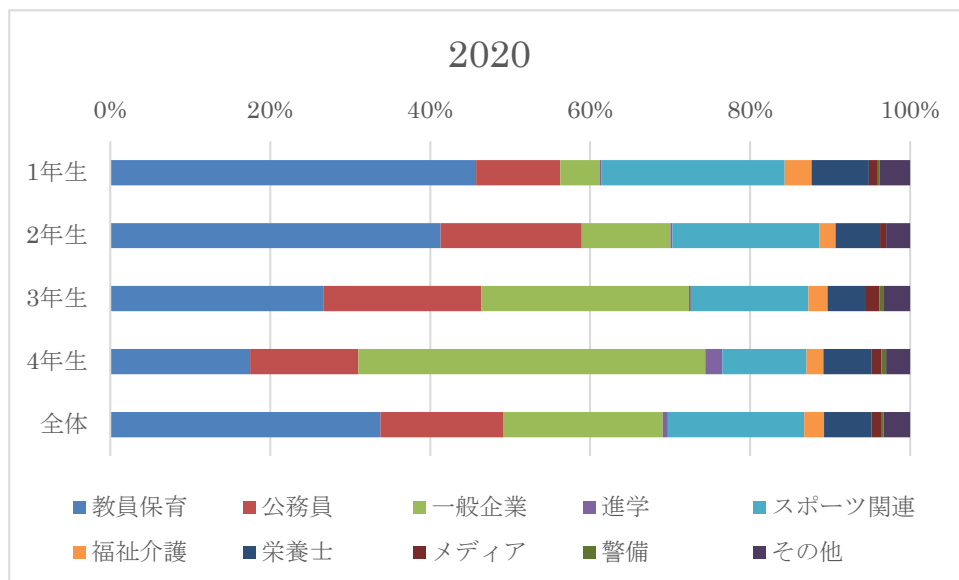


図 12 卒業後の進路希望 (学年別)

・性別の卒業後の進路の希望についての結果を図13に示した。女性では「教員あるいは保育士」という回答が約40%と最も多かった。一方で男性は「教員あるいは保育士」と回答する者が一番多い者の、「公務員」「一般企業」「スポーツに関わる職業」と回答する者の割合が約20%と、性別により卒業後の進路希望が異なる傾向がみられた。昨年度と同様の結果であった。

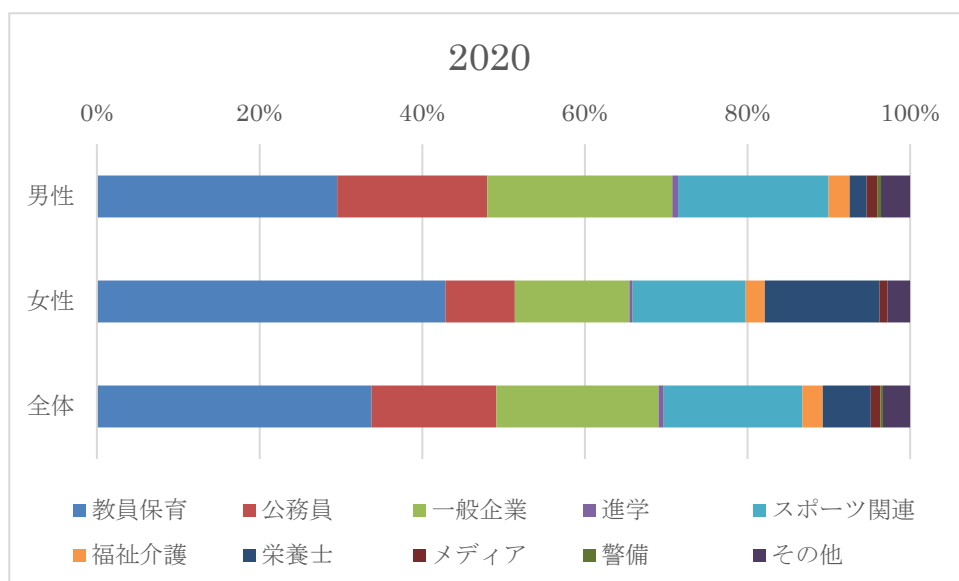


図 13 卒業後の進路希望 (性別)

・学科別の卒業後の進路の希望についての結果を図14に示した。学科により、その学科の特色を反映した結果が見られた。昨年度と同様の結果であった。

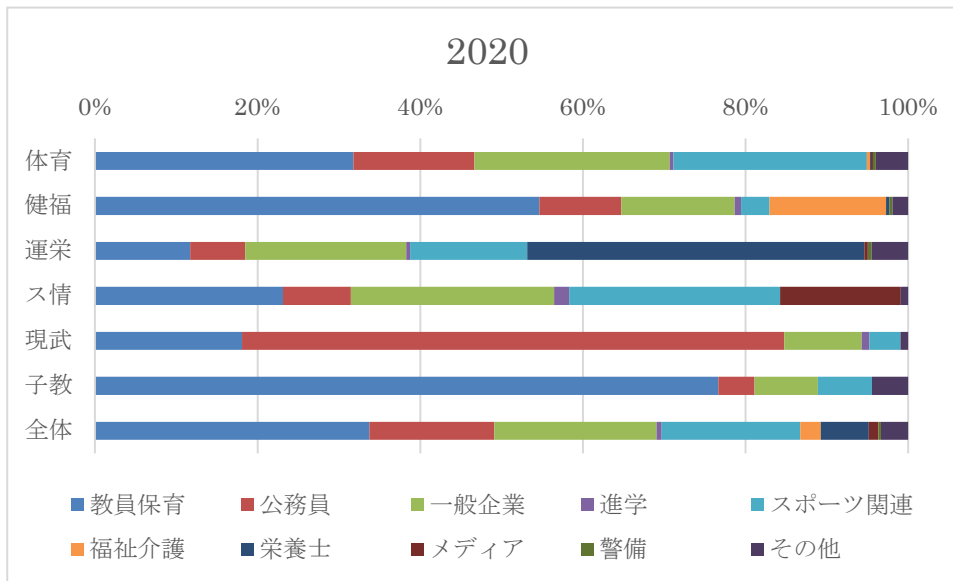


図 14 卒業後の進路希望(学科別)

5. 学習時間と他の質問の回答との関係について

・学習時間と運動時間との関係についての結果を図15に示した。学習時間と運動時間との間に明確な関係は認められないが、自主学習時間の増加に伴って運動時間を長時間行う者の割合が減少していく傾向が見られた。昨年度と同様の結果であった。

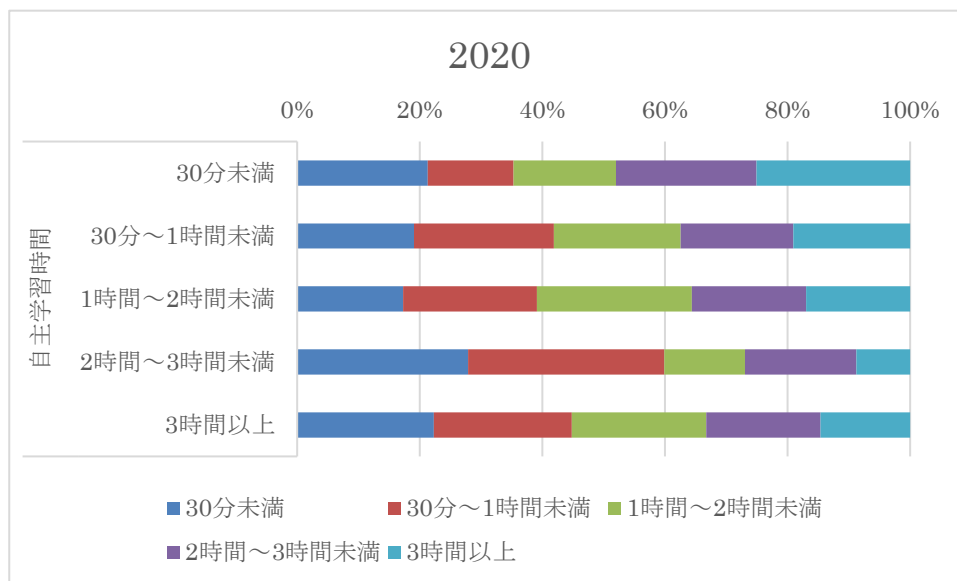


図 15 学習時間と運動時間の関連

・自主学習時間と学習目標との関係についての結果を図16に示した。学習目標による自主学習時間の間に明らかな関連はみられなかった。

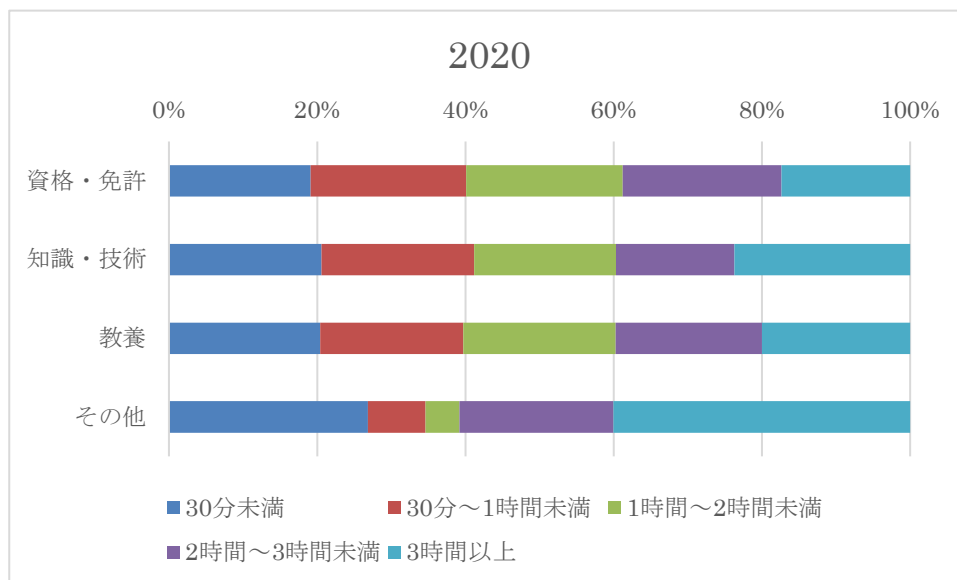


図 16 学習時間と学習目標の関連

・大学と高校三年生時の学習時間の関係についての結果を図17に示した。高校での学習時間が長いと、大学での学習時間も長いという傾向が見られた。また高校での学習時間が30分未満であったにもかかわらず、大学では180分以上と回答した学生が約30%であった。

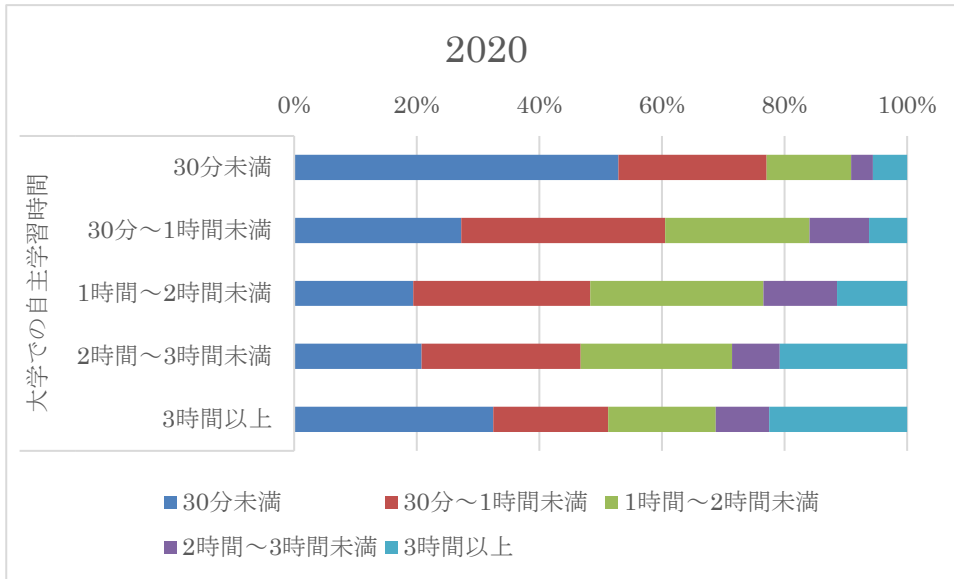


図 17 大学と高校での学習時間の関連

・学習時間と希望進路との関係についての結果を図18に示した。希望する進路によって学習時間にやや違いが見られ、進学、教員、公務員などを旨とする回答者は学習時間が長い傾向がみられた。

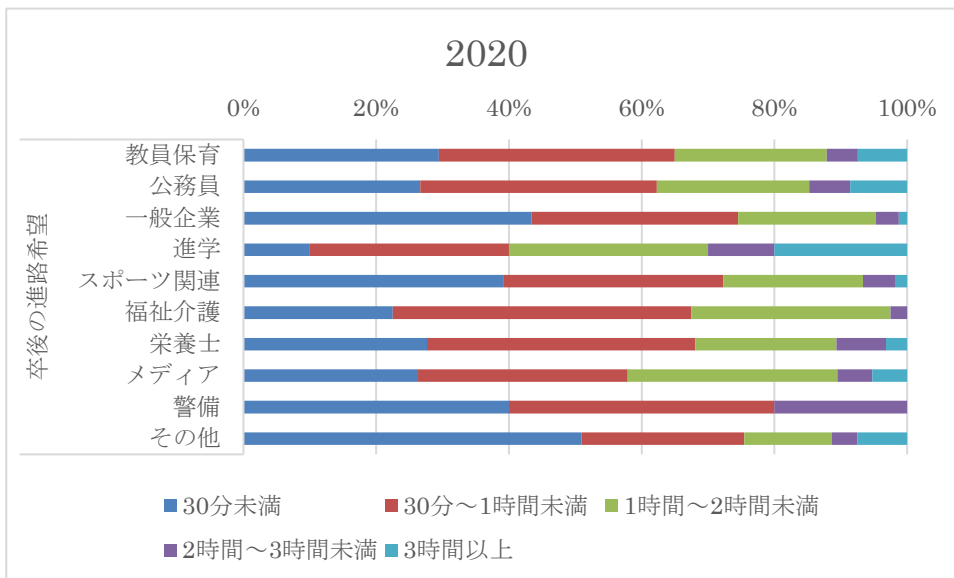


図 18 学習時間と希望進路との関係

6. まとめ

- ・全体としてコロナ禍の影響もあり昨年度と比較すると自主学習時間が延長した。四年生で学習時間が相対的に長くなっているのは、教員採用試験など就職対策のための学習の必要性と関連があると考えられる。四年生を除く学年では、オンライン授業による課題によって学習時間が延長したと考えられる。
- ・1～3年生において、1時間未満の運動時間である学生の割合が昨年度に比べ増加した。その一方で、学習時間は昨年度に比べて増加傾向であった。新型コロナやオンライン授業による課題の影響の可能性が考えられる。
- ・1年次には資格や免許の取得を目標とする学生が60%弱と最も多いが、この割合は学年の進行とともに低くなる。それに対して「教養を身につける」ことを重視する学生が増加している。これは昨年度と変わらず、本学学生の特徴としてとらえても良いと思われる。
- ・進路の希望として1年次では教員希望が最も多いが、学年が進むにつれてその割合は減少する。それに対して一般企業を目指す学生が増加している。一方、「公務員」、「スポーツ関連の職業」を目指す学生はいずれの学年においてもある程度の割合見られる。これも昨年度と変わらず、本学学生の特徴としてとらえても良いと思われる。
- ・高校三年生の時に学習時間が短かったが、大学で学習時間が長くなる学生もみられる。

以上